

# むくのきだより

## 5月号

令和3年4月30日

港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人



様々な行事等を通じて育つ子供たち

園長 宮崎 直人

新緑が美しい季節になりました。吹き抜ける風が心地よく感じる今日このごろです。園庭では、鯉のぼりが五月の風に力強く泳いでいます。玄関には、五月人形の鎧兜が飾られています。

子供たちが、入園・進級して約3週間になりました。4月のはじめ頃は、新しい環境に緊張している子もいましたが、新しいクラスでの生活に日に日に慣れてきています。

さくら組は、登園時の挨拶が、上手にできるようになってきました。大きな声で「おはようございます」と言えたり、挨拶の後におじぎをしたりすることができる子もいます。しっかりと話を聞いて行動する姿も増えてきました。園生活にも慣れてきて、砂場や園庭で元気に遊ぶ姿が見られています。

ゆり組は、上級生として、様々な役割を担っています。さくら組の友達が入園してきたことで、とても張り切ってお世話をしています。誕生会では、交替で司会を務めるなど、大活躍しています。お兄さん、お姉さんとして、さくら組に優しく遊びを教える姿も見られます。上級生という自覚をしっかりともっていて、頼もしいです。

4月は、さくら組の子供たちを迎える様々な行事がありました。始業式では、ゆり組の話の聞き方や挨拶の仕方がとても上手でした。ゆり組の子供たちの「お兄さん・お姉さんになる」という気持ちが伝わってきました。入園式では、さくら組の子供たちは、少し緊張しながらも、入園する喜びを感じていたのではないかと思います。

14日(水)には、「さくらぐみさん よろしくね ぱーていー」を行いました。ゆり組がさくら組をリードして活動する姿に、ゆり組とさくら組の関わりのよさを感じました。

22日(木)には、今年度初めての誕生会を行いました。子供たちは、皆、誕生会を楽しみにしていて、うきうきした気持ちで参加していました。誕生会では、ゆり組の子供たちが司会をしっかりと務めてくれました。会の中では、園長先生そっくりの「園長先生のお友達」が登場し、プレゼントのバルーンアートを見せてくれたことに、びっくりしている子供たちもいましたが、かわいらしい猫の風船に皆、目が釘付けでした。お楽しみのプログラムとして、皆で赤羽幼稚園50周年記念の歌「ねこまる大好き いつまでも友達」を踊って楽しみました。

赤羽幼稚園では、これからも、様々な活動を通して、身近な自然や人に積極的に関わり、豊かな人間関係を築き、思いやりのある心を育むことができるよう、保育を進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

